

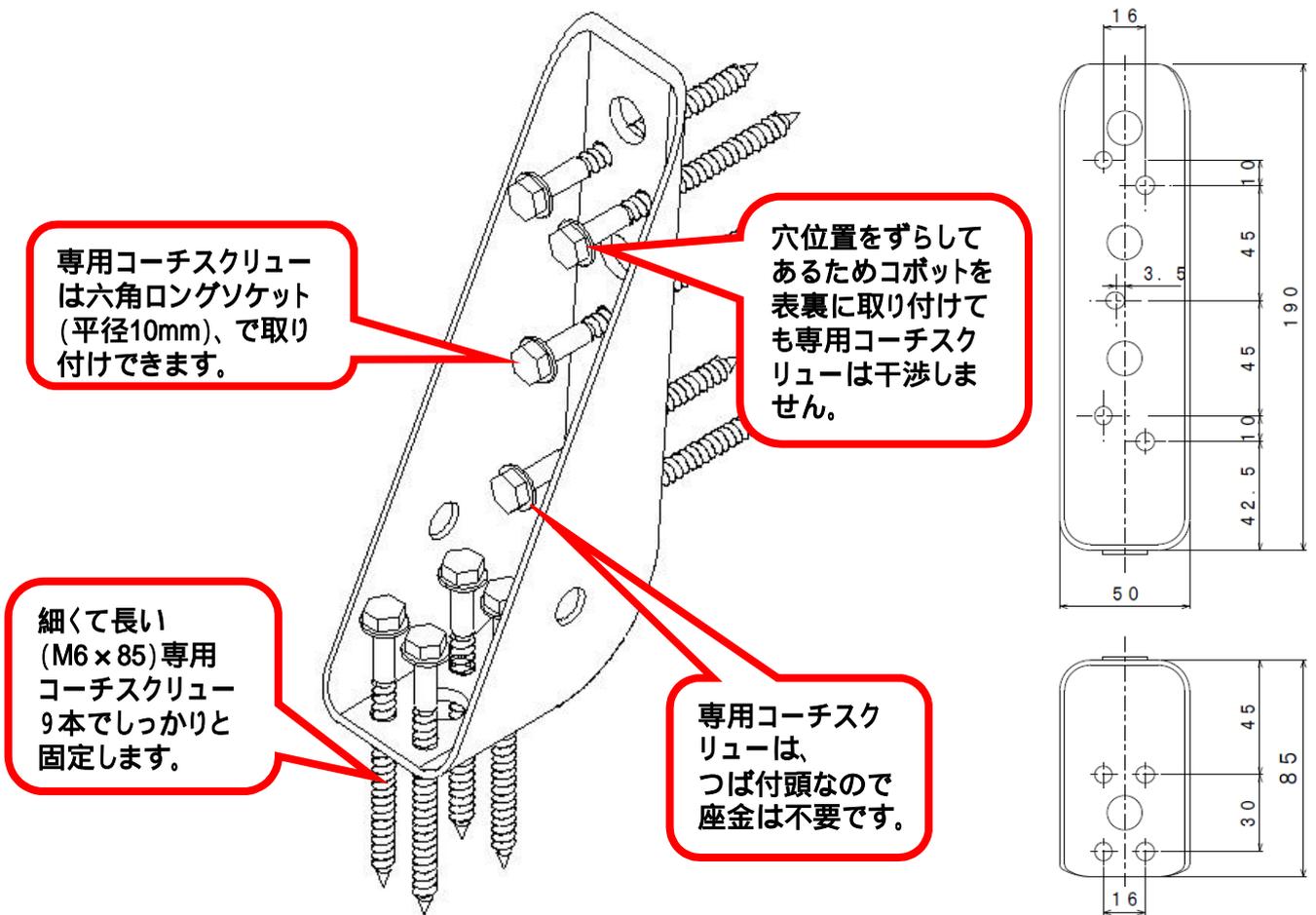
お買い上げ頂き有り難うございます。
K S コボットの正しい施工をお願いします。

国土交通
大臣認定
(認定番号:FRM-0256、0257)

コボット PAT. コーチスクリー留め

施工性に優れた専用コーチスクリー留め

(小さい方の穴を使用。 堅木の場合φ4下穴をあけてください。)



コボット使用上の注意点

- コボットで補強する壁の柱頭、柱脚部分はH12建設省告示1460号に適合する仕口とするか、告示に基づくN値計算を実施し、許容強度に収まることを確認してください。(壁の配置により強度が不足する場合には、別途金物等を追加使用してください。コボットを柱の両側に使用するのも効果的です。)
- 事前にコボットで補強する軸組の劣化状況を確認し、著しい劣化が認められる場合には交換、または修繕を行った上で補強を実施してください。
- コボットを意匠使いする場合は、露出した端面で怪我をするおそれがありますので、注意してください。

 **株式会社 国元商会**

〒538-0041 大阪市鶴見区今津北3-4-27
TEL 06(6962)8800 FAX 06(6962)8920
URL <http://www.kunimoto-s.co.jp>

2012.02.24

施工手順

1: コボット取付(接合補強)

- 1) 所定の位置にコボットをセットします。
- 2) 専用ステンコーチスクリュー 9 本でしっかりと固定します。
(堅木の場合には 4mm の下穴をあけて下さい。 堅くて締め込みがしにくい場合は一旦コーチスクリューを抜いてから締め直して下さい。 無理にねじ込むとコーチスクリューがねじ切れてしまうことがあります。)

2: ステンブレース取付

- 1) ステンロッドに接続金具の取り付け。
ステンロッドの両端の右ねじ(ロックナット用のナットが付いています。)、左ねじにそれぞれのねじ方向用接続金具をねじ込んで取り付けます。
注) ステンロッドと接続金具のねじの方向(右ねじ、左ねじ)が合っていないと取り付けできませんので、接続金具が入らない時にはねじ方向が間違っていないか、もう一度ご確認ください。
- 2) コボットにステンブレース取り付け。
まず、左ねじ用接続金具のピン取付穴部分を、コボット内部に差し込み、コボット側面穴の位置に合うようにステンロッドを回して長さを調整し、ワンタッチピン(φ10 × 62mm)を通し(水平ブレース時は必ず上から通して下さい。)スプリングを 90° 回転させて、カチッと音がする所で固定します。(ピン本体の穴からスプリングが外れないように軽く押えながら回して下さい。)
次に、右ねじ用接続金具のピン取付穴部分を、もう一方のコボット内部に差し込み、コボット側面穴の位置に合わせてワンタッチピンで同様に固定します。
- 3) ステンロッドのツブシ部にスパナを掛けて回してしっかり張り、最後にロックナットを締め付けて完了です。
(ステンロッド締め付けトルク: 6 N・m)

2': ステンブレース取付(ジョイントロッド組立)

- 1) ステンロッドにジョイントナット用ロックナットの取り付け。
長短 2 本のステンロッド(1 本は両側右ねじ、1 本は片側左ねじになっています。)のジョイント用右ねじ部(短ねじ側)に、ナットをそれぞれねじ込みます。そして、一方のステンロッドにジョイントナットをねじ込みます。
注) 左ねじ側にはロックナット(右ねじ)は取り付けられませんので、ロックナットが入らない時にはねじ方向が間違っていないか、もう一度ご確認ください。
- 2) ステンロッドの固定
ジョイントナットの中央部で 2 本のステンロッドが突き当たるようにし、ジョイントナット両側でロックナットをしっかりと締め付けて緩み止めにします。
- 3) 以後は通常のステンブレースの取付と同様です。

